

県会報告 第174号

6月県議会 定例会 会期 6月16日(火)～7月1日(水)

一歩ずつ、着実な復興に必要な議案を審議。

6月定例会は、6月16日から7月1日までの日程で開会され、平成27年度一般会計補正予算や、条例など66件の議案を可決いたしました。自民党議員会からは代表質問1名、一般質問4名が登壇し、当面の県政の課題や今後のビジョンについて、真摯な議論が繰り広げられました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

○平成27年度一般会計補正予算(66億2千8百万円)

〈主な内容〉

- 復興事業を更に推進させるための復興交付金基金への積立金(約7億3千2百万円)
- 避難地域12市町村における復興拠点づくりを支援するための経費(15億円)
- 柳津町で発生した土砂災害の復旧に要する経費(約6億3千8百万円)
- 復興祈念公園の基本構想の策定に要する経費(3千9十万円)
- 復興公営住宅に避難者の生活支援のための施設を整備するための経費(約1億3千8百万円)
- ふたば未来学園高等学校に併設型中学校を整備するための経費(約3千9百万円)

自民党議員会が主導で可決した意見書

- 福島の復興・創生期間に必要な長期の財源確保を求める意見書
- 中間貯蔵施設の整備と仮置場からの早期搬出に向けた工程の明示を求める意見書
- 義務教育等学習機会の充実に関する法整備を求める意見書
- 農地集積を効果的に進めるため贈与税納税猶予制度における特定貸付けの要件緩和を求める意見書
- 福島県産農林水産物の輸入規制措置を行っている国や地域の規制緩和に向けた働き掛けの強化を求める意見書



▲大熊町の中間貯蔵施設



▲福島県特産の桃

新県議会議長誕生

前議長の議員辞職に伴う議長選挙が行われ、斎藤勝利議員(相馬市・相馬郡新地町選出、4期)が第71代福島県議会議長に選出されました。



代表質問(平成27年6月19日(金))

自民党議員会を代表して、柳沼純子議員(郡山市選出、3期)が登壇し、内堀雅雄県知事に対して「復興財源の確保について」や「風評・風化対策について」、「観光の振興について」など喫緊の諸課題について代表質問を行いました。



ふくしま復興本部～加速する再生ふくしま～

「第五次提言」への要望に向けた現地調査及び自治体要望聴取会(4月10日、17日)

党東日本大震災復興加速化本部が政府に提出する第五次提言に現状を反映させ、復興の加速化につなげるため、4月10日、17日の2日間にかけて、中通り・浜通りの市町村を訪問しました。10日は原発事故に伴う除染廃棄物を保管する中間貯蔵施設の整備状況を視察した後、浜通りの6市町から要望を聴取しました。6市町からは、「避難者の生活再建」や「復興財源の確保」、「中間貯蔵施設への搬入路の安全確保」、「復興祈念公園の在り方」などの要望を受けました。

これを受け、自民党議員会は4月24日、党東日本大震災復興加速化本部へ「集中復興期間の延長・復興財源の確保・各制度の柔軟な運用」など6項目にわたる要請書を提出してまいりました。

要請を受けて、党本部の第五次提言へ反映され、6月12日、第五次提言を反映した復興指針が閣議決定されました。

「相馬福島道路の全額国庫負担」などの要請については、6月24日の復興推進会議で復興事業の枠組みに盛り込まれることが決定されました。



復興加速化のための自治体意見聴取会(6月3日、4日、8日、10日、11日、12日)



自民党議員会は6月3日から12日にかけて、福島県の復興を更に加速させるために、中通り、会津地方の市町村を訪問し、「除染廃棄物の中間貯蔵施設への早期搬出について」や「農産物の風評被害の払拭について」など復興に係る要望を受けました。

自民党議員会は4月から6月にかけて、県内のすべての市町村から要望を受けました。

これらの要望を受け、7月8日には県議全員で各省庁を訪問し、「平成27年度限りで終了する事業や一般会計等で対応するとされた事業の再検討」など平成28年度の予算要望を行ってまいりました。

自民党議員会は今後も福島県の復興を更に加速させるべく、県、各省庁、党本部へ働きかけるなど、最善の努力をしてまいります。